



19世紀のイギリスにおける穀物法廃止

共通テスト

第3問 問5

教授：⑤ 19世紀のイギリスでは、自由貿易政策が本格的に展開されるようになりました。自由貿易は、産業資本家だけでなく、貿易や金融、サービスを国際的に展開していたロンドンの銀行家や投資家たちにとっても利益となりました。

問5 下線部⑤について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 穀物法が廃止された。
- ② 航海法が制定された。
- ③ 印紙法が制定された。
- ④ ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)が結成された。

河合塾

突破シリーズ 共通テスト本番突破世界史Bテスト
第5問 問2

先生：イギリスは、18世紀から19世紀初めにかけて産業革命を経験しました。アヘン戦争とその前後の時期を含む19世紀前半のイギリスでは、経済活動の自由のためにどんな改革が行われましたか。

生徒C： イ。

先生：そうですね。そのような改革を通じて、イギリスは自由貿易体制を確立していき、産業革命で大量に生産した ウ の輸出先として中国の市場開放に期待したのです。

問2 前の文章中の空欄 イ に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 東インド会社の貿易独占権が廃止されました
- ② ナントの王令(勅令)が廃止されました
- ③ 印紙法が制定されました
- ④ 穀物法が制定されました

19世紀のイギリスで起こった自由主義改革の内容についての問題。改革の一環として穀物法が「廃止」されたことが問われている。正解するためには、穀物法の「制定」が保護貿易、「廃止」が自由貿易に該当する政策であることを正確に把握しておく必要がある。選択肢には穀物法のほか、共通テスト本試・「突破テスト」ともに印紙法の制定についての文もあり類似していることから、「突破テスト」の受講生は既視感をもって解けたであろう。